



## 戦争が怖かった こども時代

幼いころ母に「日本も戦争になるの？」と聞くと、母はいつも「憲法9条があるから大丈夫」と答えてくれました。二度と他国を侵略しないと誓った憲法9条を守りたい。その思いから、戦前より戦争反対を貫いてきた日本共産党に入党しました。



ロシアのウクライナ侵略に対する抗議行動に参加(2022年3月)

平和外交で  
戦争の心配  
ないアジアを  
#軍拡より生活



衆議院議員  
宮本徹



都議会議員  
尾崎あや子



一橋大学名誉教授  
東大和9条の会  
代表呼びかけ人  
池享

「何よりも平和を守りたい」  
その思いから、100年間戦争反対を貫いた  
日本共産党の一員として活動しています。



65回目となる原水爆禁止平和行進に参加(2022年7月)

## 際限のない軍拡競争は暮らしを壊す

敵基地攻撃能力の保有はかえって軍事的緊張を高め、日本に戦争を呼び込むことに。軍拡のために暮らしや教育・福祉も縮小されてしまいます。北朝鮮のミサイル発射や台湾有事などの心配を戦争にしないための外交努力こそ、政治が最も力を注ぐべき役割です。

## 日本共産党 上林まさえのお約束

### 学校給食の無償化を

「義務教育は無償」と憲法で謳われながら、給食や学用品など保護者負担が重い日本。東大和市でも第2子半額、第3子無料など1部補助ならすぐ実現可能です。

### 狭山保育園の廃園ストップ

市が保護者の意見も聞かず一方的に決めた市立狭山保育園の段階的廃園。市内唯一の公立保育園として、保育計画策定に関わるなど、自治体の保育実施義務を直接果たす責任があります。

### 国民健康保険税の値上げ中止と値下げ

市が進める6年間連続値上げ計画。過去5年間の値上げで東大和市の国保税は多摩26市でもトップクラスの高額に。5年間で積みあがった国保基金約4億円で値上げは中止できます。さらに市の基金の一部を活用すれば値下げも可能です。

- 家庭用ゴミ袋の値下げ
- 高齢者の補聴器購入補助制度の創設
- 学校は統廃合せずに建替えを
- 不登校・ひきこもり支援拡充
- 小中学校トイレに生理用品を
- ちょこバスの改善



## 財源はあります

東大和市の黒字額は2020年度約19億円、2021年度は約29億円。基金総額は80億円にも。この一部を活用すれば実現可能です。学校の建て替えは、国に財政責任を果たさせる必要があります。



上林まさえ  
市議に  
期待します



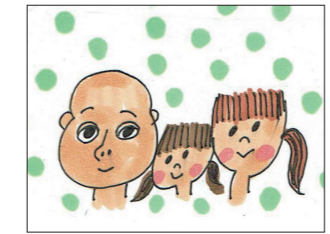
宗像静香さん・智さん

### 子育て世代の声を政治に

上林さんは子育て世代の悩みに寄り添い、共に戦ってくれる同志です。共働きの大変さも、子育ての苦悩も経験してきたからこそ、できることがあると思います。これから子育て世代を取り巻く実態に見合った政策を期待します！

### 話してるだけで元気になる人

お隣のちゃーちゃんは、家族ぐるみでとてもお世話になっています。何でもよく知っていて、わからないことを質問すればどんな分野でもていねいに教えてくれます。みんなをまとめてくれるとても頼りになる存在。それなのに、とても気さくでおもしろくて、話してるだけ元気になる人です。



名手有紀さん(仲原在住)



脇田正子さん(中央在住)

### 市議会になくてもならない存在

市議会へ傍聴に行くと、いつも持ち時間100分をフルに使って市政を迫っています。その粘り強さで市の方針を変えさせ、認可保育園の増設など大きな成果をあげてきました。学校の体育館にも他市より早くエアコンが設置され嬉しいです。



かみばやし

日本共産党  
東大和市議会議員  
上林まさえ



## あなたの声を聞かせてください

市議に押し上げていただいて2期8年間、皆さんの声をまっすぐ議会に届けてきました。子どもも大人も高齢者も、障害がある人も働けない人も、誰もが幸せに生きる権利を生まれながらに持っています。あたり前に誰もが大切にされる社会をこの東大和市からつくりたい。みんなで声をあげれば、社会は必ず変えられます。ご一緒によりよい社会をつくりましょう。

東大和市議会議員 上林真佐恵



誰もが大切にされる  
東大和市を

PROFILE

1973年小平生まれ・仲原4丁目在住・自由の森学園卒・趣味はBTSとマンガ・小平に住んでいたころ公立保育園の廃園・民営化反対運動に関わる・家族は夫・娘・愛犬のむっく

2015年東大和市議選に初当選、現在2期目・厚生文教委員会所属



## 2期8年、市民の皆さんと市政を動かしてきました

文科省に学校給食無償化、少人数学級の推進等を申し入れ(2018年10月)

## こども医療費が18歳まで拡充

10回以上に及ぶ一般質問や代表質問、予算組替え提案で18歳までの子ども医療費拡充を繰り返し要望。共産党都議団とも連携し、都議会でも条例提案を行い、ついに東京都で実現しました。

## 認可保育園の増設を要望・実現

当初「新たな認可保育園はつくりたくない」と言っていた東大和市。待機児童の実態や、市内にある都有地の活用を提案した結果、市はついに方針を変え、新たな認可保育園が2022年4月に開園しました。



## 学校体育館へのエアコン設置が実現

市内の全小中学校を訪れ実態を聞き取り、市も知らなかった国の制度を議会で紹介し財源提案。市内すべての小中学校体育館へのエアコン設置が実現しました。



## 学校トイレの洋式化が大きく前進

市内のすべての小中学校トイレを視察し状況を確認。臭いの解消や洋式化を要望してきました。市の洋式化率も資料要求で明らかにしながら進捗を確認しています。



## 不登校の子どもの居場所が拡充

全国でも市でも不登校の子どもが増えています。現在、学校以外の居場所として学習支援や給食も食べられる「サポートルーム」は市内に1つしかありません。議会で繰り返し複数設置を求め、2023年4月から市内2つ目となる「校内サポートルーム」が試験的に導入されることになりました。

## 【教育の充実】教育長に奨学金制度の創設や教員の労働環境改善等を要望(2019年10月)



## 【都営団地】使用承継と地元割当の拡充をもとめ東京都に申し入れ(2019年5月)



## 【学校給食無償化】東大和市の実態を文科省に直接要求(2022年10月)



## コロナ対策でも要求が実現

国からのコロナ交付金、総額約18億円の活用を求め臨時議会の招集を要望。さまざまなコロナ対策が実現しました。

- ・市内PCR検査センター設置
- ・高齢・障害福祉施設での集団PCR検査の推進
- ・中小企業応援金の条件緩和
- ・障害福祉施設への2度目の応援金支給

## 子どもの権利 ジェンダー平等

### あたりまえの社会に

いじめや不登校、理不尽な校則など、多くの子どもたちが苦しんでいます。東大和市でも「子どもの権利条例」の制定を求めています。

生理の貧困や痴漢ゼロ、多様な性のあり方を保障する取り組みや包括的性教育についても議会で取り上げられました。